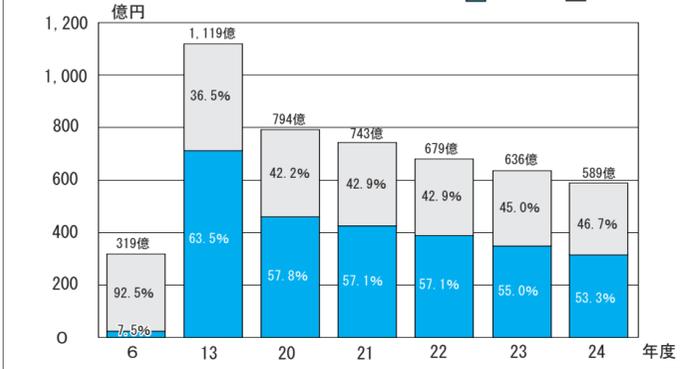


市債残高について

市の借金にあたる一般会計の市債残高については、震災関連事業の実施に伴い急増し、ピーク時の平成13年度末には1,119億円に達しましたが、震災関連事業の減少に伴い、平成14年度以降減少に転じています。平成24年度では計画的な償還に加え、借り換えを抑制したことにより、年度末残高は589億円となりました。

なお、589億円の内、震災関連分は314億円(53.3%)となっています。今後も、可能な限り積極的な償還に努め、市債残高の一層の縮減を図っていきます。

◆市債残高の推移(グラフの数値は各年度の構成比) ■震災関連 ■震災関連以外



健全化判断比率および資金不足比率について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率および資金不足比率を算定しましたので、お知らせします。

健全化判断比率につきましては、いずれも早期健全化基準を下回っています。実質公債費比率や将来負担比率については、決して良好と言える数値ではなく、実質公債費比率については、平成24年度は市債の借り換えを抑制したこと等により一時的に悪化していますが、将来的な負担全体を表す将来負担比率は昨年度と比べ改善しています。これらの比率は、地方債の償還が進むにつれて、少しずつ改善される見込みです。

なお、資金不足比率につきましては、資金不足を生じている公営企業会計はありませんでした。



◆健全化判断比率

	23年度	24年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	-	12.22%	20.00%
連結実質赤字比率	-	-	17.22%	30.00%
実質公債費比率	13.0%	13.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	148.3%	129.1%	350.0%	

【実質赤字比率】

一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
※標準財政規模：地方公共団体において標準的に収入される一般財源の規模

【連結実質赤字比率】

全会計を対象とした実質赤字(または資金の不足額)の標準財政規模に対する比率

【実質公債費比率】

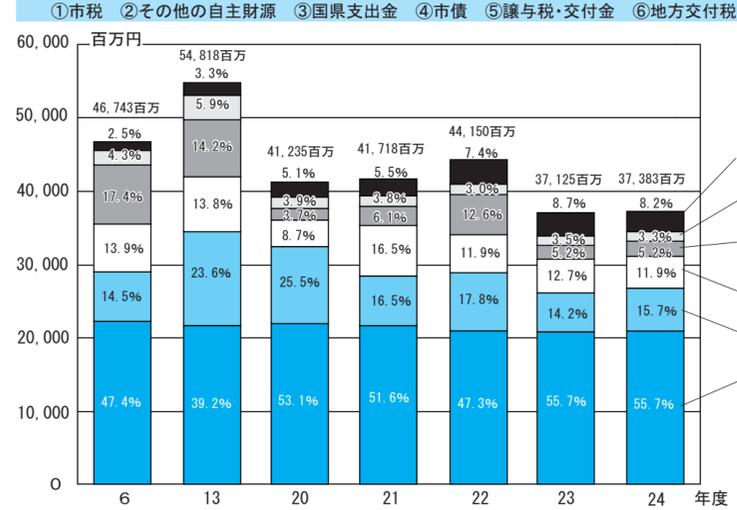
一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率

【将来負担比率】

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

歳入決算額の推移

【歳入】各年度の構成比 ①市税 ②その他の自主財源 ③国県支出金 ④市債 ⑤譲与税・交付金 ⑥地方交付税



歳出

平成24年度の一般会計歳出決算額は367億9,153万5千円で前年度に比べ12億2,931万9千円(3.5%)の増加となりました。

【総務費】

市役所全体の事務費や税金の徴収、戸籍および住民票、選挙等に要する経費です。財政基金積立金、公光分庁舎整備費の増加等により2億7,122万5千円(6.3%)増の45億9,019万7千円となりました。

【民生費】

福祉等に要する経費です。324万4千円(0.0%)増の103億4,774万7千円となりました。

【衛生費】

保健やごみ処理等に要する経費です。市立芦屋病院への助成の増加等により11億5,465万2千円(31.5%)増の48億1,902万1千円となりました。

【土木費】

道路や都市計画、公営住宅等に要する経費です。南芦屋浜都市公園整備事業費の減少等により4億2,630万2千円(9.3%)減の41億4,460万7千円となりました。

【消防費】

消防・救急や災害対策に要する経費です。250万2千円(0.2%)増の11億9,552万1千円となりました。

歳出決算額を市民一人あたりで見ると・・・

歳出決算額を平成25年3月31日時点の人口で割ると381,813円となります。これを上記の費目に分けると以下ようになります。

総務費	47,636円(44,942円)	消防費	12,407円(12,629円)
民生費	107,386円(143,919円)	教育費	35,539円(40,442円)
衛生費	50,011円(34,085円)	公債費	80,151円(45,571円)
土木費	43,012円(47,276円)	その他	5,671円(33,184円)
合計	381,813円(402,048円)		

*()内の数値は、参考として平成23年度の全国都市平均を表示しています。

歳入

平成24年度の一般会計歳入決算額は373億8,256万3千円で前年度に比べ2億5,718万3千円(0.7%)の増加となりました。

【市税】

歳入全体の約半分(55.7%)を占めます。個人市民税が3億7,790万6千円(3.5%)、法人市民税が7,063万9千円(13.0%)増加したため、市税総額では1億4,338万5千円(0.7%)増の208億3,010万4千円となりました。

【譲与税・交付金】

前年度と比べ1億788万6千円(8.1%)減の12億2,626万円となりました。

【地方交付税】

普通交付税の減少等により1億6,629万4千円(5.2%)減の30億5,003万9千円となりました。

【国県支出金】

国や県から交付される補助金や負担金等です。児童手当負担金の減少等により、前年度と比べ2億6,414万5千円(5.6%)減の44億5,293万2千円となりました。

【市債】

いわゆる借入金です。前年度と比べ4,335万9千円(2.3%)増の19億6,253万9千円となりました。

【その他】

前記以外の収入で、寄附金や手数料収入等です。平成23年度決算における黒字が歳計剰余金収入となり繰越金が大幅に増加したこと等により、前年度と比べ6億876万4千円(11.6%)増の58億6,068万9千円となりました。

【教育費】

学校や幼稚園、社会教育等に要する経費です。小学校施設整備費の増加等により9,159万1千円(2.7%)増の34億2,458万円となりました。

【公債費】

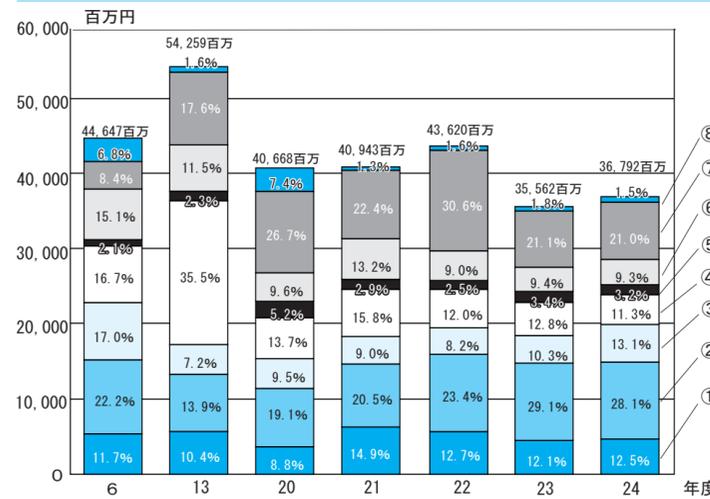
市債(借入金)の元金や利子の支払いに要する経費です。満期を迎える市債の増加により2億1,169万7千円(2.8%)増の77億2,333万2千円となりました。

【その他】

前記以外の経費で、議会費や商工費等が含まれます。市立芦屋高等学校跡地土砂崩落防止対策工事がなくなったこと等により7,929万円(12.7%)減の5億4,653万円となりました。

歳出決算額の推移

【歳出】各年度の構成比 ①総務費 ②民生費 ③衛生費 ④土木費 ⑤消防費 ⑥教育費 ⑦公債費 ⑧その他



◆◆平成24年度 一般会計決算概要◆◆

芦屋市の財政状況

問い合わせ 財政課 ☎38-2011

平成二十四年度は、市債残高を精実に減少させることにより将来の負担軽減を目指しながら、「健康」「福祉」および「教育」を重点項目と位置付け、行政運営に取り組みました。このたび、その決算概要がまとまりましたので、市の代表的な会計である一般会計を中心に、その特徴をお知らせします。なお、記事中のグラフ(歳入決算額・歳出決算額・市債残高)には、参考として震災前の平成6年度と近年で市債残高が最大となりました平成13年度の数値を掲載しています。

平成二十四年度は、景気低迷等の影響を受けて三年連続で下落していた市税収入が、対前年比で一億四千三百三十八万五千円増加し、四年ぶりの増加となりました。

しかし、歳出において、衛生費における貸付金および出資金が大幅に増加したことや、公債費が増加したことなどから平成二十四年度の実質的な黒字額は昨年度よりも減少し、二億七千七百四十四万四千円となりました。

黒字額については、今後の財政運営に活用します。

≪平成24年度 決算のあらまし≫

項目	説明	金額(千円)
①歳入総額	1年間の収入の総額	37,382,563
②歳出総額	1年間の支出の総額	36,791,535
③歳入歳出差引(①-②)	収入から支出を引いた額	591,028
④繰越財源	平成25年度継続事業に充てる額	320,284
⑤実質収支(③-④)	実質的な黒字額	270,744

平成24年度の主な事業

- 公光分庁舎の整備による男女共同参画センターおよび市民活動センターの移転
- 市役所北広場のエレベーター設置によるバリアフリーの実施
- 打出浜小学校の学童保育施設増設
- 防災無線の増設
- 橋梁および公園の整備
- 妊婦健診および子宮頸がんワクチン等接種の助成を継続
- 肝炎ウィルス検査の助成を実施
- 山手町の施設私立保育所への建設助成
- 学校園の遊具や防犯カメラの更新

GATV 広報番組ガイド

芦屋市広報番組 あしやトライあングる

オープニング	芦屋川松風通り	放送時間(15分)
トピックス	新しい竹園集会所が完成	① 9:00
特集	花と緑いっぱいのもち心にも花を咲かせよう!	②12:00 ③15:00 ④18:00
お知らせ	秋の芦屋わがまちクリーン作戦 記念撮影コーナーができました!	⑤22:30
エンディング	芦屋散歩	※DVD 貸出可

◆広報番組「あしやトライあングる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。
◆番組に関する問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006 ◆GATV全般に関する問い合わせ J-COM神戸芦屋カスターセンター ☎0120-999-000

芦屋シティグラフ好評発売中!

市では、「芦屋シティグラフ」(A4判・52ページ/全カラー刷り)を発行・発売しています。芦屋の自然や史跡・名所、市内の施設をはじめ、芦屋のまちの楽しみ方をたくさん紹介しています。若い世代の皆さんにも楽しんでいただけるような情報もいっぱい。眺めるだけでも楽しい1冊です。後半には、行政の動きや統計などの情報も掲載しています。

ぜひ、一度手に取ってご覧ください。

■販売場所 市役所行政情報コーナー・ラポルテ市民サービスコーナー ■定価 300円

問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006

美術博物館の催し

●芦屋アートバザール

■日時 10月5日(土)・6日(日) 午前10時～午後4時<雨天中止>

■会場 前庭

■内容 「創作活動を通じた作者とお客様の交流」を目的とした手作り品のバザール

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/☎38-5434(〒659-0052 伊勢町12-25)

谷崎潤一郎記念館の催し

【谷崎館講座】年賀状一日体験講座

■日時 10月1日(火)・12月3日(火)/各午後2時30分～4時30分

■会場 講義室 ■内容 来年の干支の「馬」を古代文字で石に彫り、ひと味違う年賀状を仕上げます。 ■講師 印手紙作家・新倉希美氏 ■定員 16人 ■受講料 2,000円・材料費2,000円 ■申し込み 下記へ

【谷崎館講座】花の宿に学ぶ茶花

■日時 10月2日～(毎月第1水曜日・12月は休講)午後1時～4時

■会場 講義室 ■内容 四季折々の草・木・花を自然の風情を生かして投げ入れにします。有馬温泉の老舗旅館「高山荘 華野」主人の駿川武志氏が茶花の極意を伝授します。 ■定員 8人 ■受講料 3ヵ月9,000円・花代別途1回5,000円 ■申し込み 下記へ

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/☎38-3244/ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp(〒659-0052 伊勢町12-15)

【谷崎館講座】仏画講座

■日時 10月12日～(毎月第2土曜日・12月は第3土曜日) 午前10時30分～午後0時30分

■会場 講義室 ■内容 穏やかで慈悲あふれる仏さまを描いて心の平安を得ませんか。仏画講師の阿藤無華氏が、お手本をなぞって彩色する初歩から指導します。 ■定員 10人 ■受講料 3ヵ月8,400円(教材費別) ■申し込み 下記へ

【開館時間】 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
【15日以降の9月の休館日】 17日(火)・24日(火)・30日(月)
【特別展観覧料】 一般400円・大・高生300円